

01

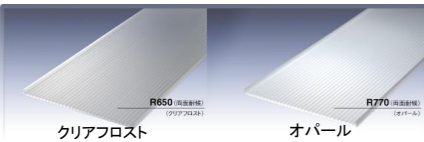
雨の日も快適に ～小郡地下道入り口シェルター～

平成25年3月施工

国道2号線は交通量が多く、大型車両も頻繁に通ります。この地域には小学校や中学校と学校も多いため、事故軽減と渋滞緩和の為に自転車の往来も考慮したスロープ式の地下道です。屋根を設ける事で雨風を凌げ、事故軽減に役立っています。

屋根部はポリカーボネート樹脂製中空ハニカム構造

屋根部はポリカーボネート樹脂製中空ハニカム構造の長尺大型 ジョイントシステムパネル材です。軽量、高剛性、高断熱性を備え特殊ジョイント構造で、中間フレームを削減、美しいファサードデザインを創造する光建築素材です。



優れた耐衝撃強度を誇るポリカーボネート樹脂製表面に紫外線による黄変、品質劣化を防ぐ耐候処理(両面)を施した
 ・強制曲げによるR施工が可能
 ・特殊ジョイント方式により、パネルの横連結を実現。
 ・押え縁やシーリングの必要がない
 ・中空ハニカム構造(厚み16mm)。軽量で、高い剛性と断熱性能を持ったパネル



現場施工が早い！シェルター屋根

今回の現場は大規模でしたがバスシェルターやダックアウトなど規模の小さな製品でも対応可能、通常のポリカ屋根と比べ施工が早く雨漏れし難い構造となり、同時に強風で飛びにくい仕様になっています。

地下道屋根は大型となりやすく、またスロープが続くのでどうしても通路が暗くなりがちです。屋根が乳白色のポリカの為、明るく地下道を照らしています。設置後、子供達が楽しく笑いながら安心して登下校している姿を見て、うれしく思いました。

現在、地下道は全国に沢山あります。そのほとんどが老朽化して来ているのが実情です。今後改修が必要になると考えられますので、多種多様な地下道に合わせて、より低コストで高品質のシェルターを設置していきたいと思えます。

-材質-
 屋根材:ポリカーボネート 膜板:ZAM鋼板
 構造:SS400材 塗装:ウレタン樹脂塗装仕上げ
 雨樋:SUS304

発注元:山口河川国道事務所
 設置場所:山口県山口市

設計金額
 シェルター: ¥50,000,000-(概算)
 サイト担当者
 営業: 加藤
 製作図: 奥

02

憩いの広場にシンボルサインを ～尾道中央棧橋～

平成25年4月施工



(a) 夜のアクリルサイン

アクリル板と光が海を演出 (a)

設置場所は、広島県尾道市 おのみち海の駅 尾道中央ビクター棧橋。海の駅のモニュメント型サインとして設置されました。表示内容は、設置場所から見えるむかしの風景写真を使用しています。また、当時使用されていた『北前船』が表示内容として使用しています。過去の風景と現在の風景が重なるサインです。表示部で使用されたアクリルは、50mmの厚さでできています。アクリルの小口と裏面に施したブラスト部は下部の金物に仕込まれた照明の光によって白い輝きを放ちます。

風景を遮らないサイン

昼間は周辺の美しい風景を遮ることなく、夜は、象徴的に演出できる製品として応用できます。

壁面緑化とのコラボレーション (b)

建物壁面に緑化すると同時に、内照式の箱文字を取付ました。中央ビクター棧橋のロゴ文字を使用し、箱文字として表現できない小さな文字に関しては、ひとつのボックスから文字を抜く事により、表現しております。背後の植栽プランターのメンテナンスを考慮し、意匠的に希望されていた位置と双方に良い位置で設置しております。緑の中に現れる文字が、高級感を醸し出し、落ち着いた雰囲気演出しております。

雰囲気づくりに内照式文字

近年多くみられる壁面緑化に、通常の文字ではなく内照式の文字を入れる事で、一味違った印象を与えます。商業施設や観光地など、夜にも人が集う場所での使用をお勧めします。

ヨットの停留所がある海の真横に設置されているのですが、一際目立つサインのため、通行している観光客の方が必ずのように見ていかれます。近代的なヨットと歴史的な船、情緒ある街に光ったサインは尾道のシンボルのような存在となっています。

発注元:広島県 設置場所:広島県尾道市
 -材質-
 アクリルサイン (a) 内照式箱文字 (b)
 表示部:アクリル(プラスト仕上) ステンレス(フッ素樹脂塗装仕上)
 透明SPコート印刷 LED照明
 屋外用シート貼り
 下部金物:耐候性鋼板
 下地鉄骨:SS400材



(a) 昼のアクリルサイン



(b) 内照式箱文字

設計金額
 アクリルサイン(a): ¥4,500,000-
 緑化サイン文字(b): ¥1,300,000-
 サイト担当者
 営業: 加藤
 製作図: 小笠原・田代